

(((地域づくりナビ 発信!)))

誰一人取り残さない

『地域共生社会の実現』を目指して

～ 地域の縁づくり×SDGs×社会福祉協議会 ～



稲沢市社会福祉協議会では、
生活支援体制整備事業(地域の縁づくり)を通して、
『地域共生社会の実現』を目指しています。

SDGsは、世界の共通目標!

SDGs(エスディーゼズ)とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際社会共通の目標です。

持続可能で多様性と包摂性のある社会(誰一人取り残さない社会)を実現するために、17の取り組み目標と169のターゲットが掲げられています。

地域の縁は『過程』で育まれます

現在、市内9地区に『生活支援体制整備推進協議会(地域の皆さんが顔を合わせ、地域の課題解決に向けてワイワイガヤガヤ話し合う場)』を設け、地域の縁づくりに取り組んでいます。

『地域の縁』は、課題解決に向けて取り組む『過程』で育まれます。

生活支援体制整備事業は『地域の縁(支え合いの気持ち)を育む』ことを目的とする取り組みです。

高齢者だけではなく、子どもや障がい者も全ての人々が住みよい地域と生きがいを共に創り、共に高め合うことが『地域共生社会の実現』につながるのです。

みんなで取り組む『地域の縁づくり』は、
誰一人取り残さない『地域共生社会の実現』と
『SDGs』の達成に貢献しています。